

タンクの下に油蟬？ スターター始動不能

R100RS 1988年

しばらくぶりでエンジン始動しようとしたがバッテリー上がりで始動不能。

ショップで純正バッテリーに交換、当日は問題なかったようですが数日後、セルボタンを押しても「ジー——」の音のみで始動不可、外部バッテリーからジャンプするとエンジン始動。

走行中は14V(車載電圧計表示)で充電OK、イグニション・オン時でも12Vプラスで問題なし。

入庫後の点検でバッテリー・ターミナル緩みなどの問題なし、スターターはバレオ製 D6RA15なので一度は交換されているようですが「お釣り」が来ることがあるとのことで日本電装製に交換。これで始動OKのハズでしたが「ジー——」の異音は変わらず発生。

バッテリーはあまりキレイでなかったのにお客様に聞いたところそのショップの請求は5-6千円で新品でないことが判明、当店お勧めバッテリーに交換したところあっさり始動、充電電圧も14VでOKでした。理由アリで交換された中古バッテリーを装着されたため発生した故障でした。

バッテリー・ターミナル間で12.5V前後あるので問題ないように見えたのですが内部構造崩壊などで起電力が足りなかったようです。



VALEO D6RA15



D6RA7

バッテリーあがり、バッテリー・ターミナル／アースライン緩みの基礎症状はスターターボタンを押すと「カタカタカタ」、「ジー——」、「カチッ」などです。バレオ製スターターのマグネット剥離も「カチッ」の反応です。

CRIMECA